

CEATEC JAPAN 2013

みんなでドキドキするとテレビはもっと楽しくなる！

スマートTV・セカンドスクリーンで生体情報を利用した

コンテンツサービスのデモを実施

HTB 北海道テレビ（本社・札幌）は、10月1日（火）から5日（土）まで幕張メッセで開催される「CEATEC JAPAN 2013」のNHK/JEITA ブース内「IPTV フォーラム」コーナーにおいて、NTT コミュニケーションズ（本社・東京）と共同で、「みんなでドキドキするとテレビはもっと楽しくなる！」をコンセプトにスマートTV、タブレットなどのセカンドスクリーンで生体情報を利用した番組・視聴者との一体感を創出するコンテンツ連携サービスの検証デモを実施します。

デモの内容は、腕時計型の心拍計を装着した視聴者がスマートTVでHTBの様々な番組シーンを視聴します。その際の心拍数をリアルタイムで計測し、映像コンテンツを楽しむドキドキ感を心拍数で表現します。また同時に自分と自分以外の視聴者の心拍数をグラフィカルに表示しその共感（シンクロ）度合いを見ることでより映像コンテンツを楽しめるかを検証します。

ネットとつながることで、様々なサービスを可能にするスマートTVの時代は、テレビが情報・コンテンツのハブとなり、多様なデバイスと連携していくものと考えられます。

HTBは、こうした取り組みを通じて、視聴者にとってより良いサービスの研究をしていきたいと考えています。

